

第17回土木構造物検討会 議事録

1. 開催日時：平成26年2月27日（木） 14:00～17:10

2. 開催場所：日本電気協会 4階 A会議室

3. 出席者（順不同，敬称略）

出席委員：谷（防災科学技術研究所），山崎（首都大学東京），衣笠（東京工業大学），
原口（関西電力），大友，松山（電力中央研究所），鈴木（原子力安全推進協会），
藪（北海道電力），加藤（東北電力），高尾（東京電力），河村（中部電力），中村（北陸
電力），清水（中国電力），若松（電源開発）

（計14名）

代理出席：袴着（九州電力・生貞），森（日本原子力発電・入谷）

（計2名）

常時参加者：秦，久松，内野（中部電力），蒲池，中村（関西電力）

（計5名）

欠席者：高橋（四国電力）

（計1名）

事務局：井上（日本電気協会）

（計1名）

4. 配付資料

- | | |
|------------|--|
| 資料 No.17-1 | 第16回 土木構造物検討会議事録（案） |
| 資料 No.17-2 | 耐震設計分科会 土木構造物検討会委員名簿 |
| 資料 No.17-3 | 平成26年度各分野の規格策定活動 |
| 資料 No.17-4 | 原子力規格委員会 耐震設計分科会 平成26年度活動計画 |
| 資料 No.17-5 | JEAC/G4601 改定スケジュール案（土木構造物検討会） |
| 資料 No.17-6 | 土木構造物検討会作業会名簿 |
| 資料 No.17-7 | JEAC/G4601 改定の基本方針について（土木構造物検討会） |
| 参考資料-1 | 実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の
解釈（抜粋） |
| 参考資料-2 | 敷地内及び敷地周辺の地質・地質構造調査に係る審査ガイド |
| 参考資料-3 | 基準地震動及び耐震設計方針に係る審査ガイド |
| 参考資料-4 | 基準津波及び耐津波設計方針に係る審査ガイド |
| 参考資料-5 | 基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価に係る審査ガイド |

5. 議事

(1) 代理出席者の承認及び会議定足数の確認

事務局から，代理出席者2名の紹介を行い，規約に従って主査の承認を得た。また出席者は現時
点で16名で，会議開催条件の「委員総数の2/3以上の出席(12名以上)」を満たしていることを確
認した。

(2) 前回議事録の確認

事務局より、資料 No. 17 - 1 に基づき第 16 回土木構造物検討会議事録(案)が紹介され、誤記を修正の上、正式な議事録にすることが挙手により承認された。

(3) 耐震設計分科会平成 26 年度活動計画について

原口幹事より、資料 No17-3, 4 に基づき耐震設計分科会平成 26 年度活動計画について説明された。平成 26 年度活動計画に対して来年度中に JEAC4601 を改定することを出席委員に確認し了承された。

主な質疑は下記の通り。

- ・ JEAC4601-2008 年版のエンドース予定はあるのか。
→順番にエンドース作業を実施するとは聞いている。現在は機械学会の設計・建設規格及び材料規格のエンドース作業中である。耐震 JEAC は、来年度か再来年度になりそうなので、来年度の改定版でエンドースをすることになるかもしれない。JEAC4601-2008 は、保安院時代に技術評価をしているが、その結果はどう扱うのか聞いたところ参考にはすると言われたが、組織が新しくなったので最初からとなると言われていた。
- ・ JEAC4601-2008 が改定中であるとの情報は伝わっているのか。伝わっていたら 2008 年版のエンドース作業には入らないのでは。
→改定作業を行っているとの情報は入っていると思う。次の改定版を待ってからになるかもしれない。

(4) JEAC/G4601 改定作業状況について

原口幹事より、資料 No17-5, 6, 7 に基づき、JEAC/G4601 改定の基本方針およびスケジュールについて説明された。

また、各作業会から主な改定のポイントについて説明され、以下のとおり議論した。

- ・ JEAG 第 2 章地質・地盤調査については、津波や火山に関する調査、後期更新世以降の地層がない場合の地層の考え方などについて、改定の方向性の議論を行った。
- ・ JEAG 第 3 章基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価については、地殻変動に対する地盤安定性評価や評価基準などについて、改定の方向性の議論を行った。
- ・ JEAG 第 4 章津波水位評価については、行政機関による津波評価、基準津波の定義などについて、改定の方向性の議論を行った。
- ・ JEAC 第 5 章屋外重要土木構造物の耐震設計については、津波防護施設や津波と余震との重畳などについて、改定の方向性の議論を行った。

なお、共通事項として、以下の 3 点について各章の作業会で実施するよう決めた。

- ・ 一番右に新規制基準ガイド及び新知見に関する情報を追加した対比表を作成する。
- ・ 改定案で悩んでいる場合や、規定とガイドに対応していないという指摘が出る可能性がある場合には、改定案を 2 案記載する。

- ・ 記載の適正化については、電気協会の規約「規格作成の手引き」を参考に記載を合わせる。

主査より、分科会に説明する改定案の完成度について認識を共有したいと提案があった。9月の規格委員会に上程できるように、8月の分科会には完成版で書面投票が行えるものを提示、6月には新旧比較表で説明できるレベルまでのものを提示する。3月には、基本的な考え方、改定のポイント、課題をまとめておき、課題については、分科会の意向を聞けると良い。

6. その他

- (1) 次回検討会の開催予定

5月12日（月）14:00～17:00に開催する。

以上